

## ( 参 考 )

### 長崎県カーネーションの生産状況

他の切り花との競合や輸入カーネーションの増加等により、平成元年をピークに国内のカーネーション生産量が減少している中で、本県産カーネーションは品質の高さが評価され、意欲的な生産がなされています。

長崎県における令和5年の産出額は9億円(全国5位)となっており、13,400千本(全国6位)が出荷されています(作付面積14.0ha)。

県内の主な産地は、諫早市、大村市、雲仙市、佐世保市で、各産地とも優れた栽培技術により高品質のカーネーションが生産されています。

### 全国での順位等(令和5年)

#### (1) 栽培面積

順位	都道府県	栽培面積(ha)
1位	長野県	66.0
2位	愛知県	38.3
3位	北海道	24.4
4位	千葉県	15.7
5位	長崎県	14.0
6位	兵庫県	13.4
7位	福岡県	7.5

#### (2) 出荷本数

順位	都道府県	出荷本数(千本)
1位	長野県	39,000
2位	愛知県	33,900
3位	千葉県	17,300
4位	兵庫県	16,200
5位	北海道	15,500
6位	長崎県	13,400
7位	静岡県	8,170

令和5年産花き生産出荷統計(農林水産省)

### 長崎県花き振興協議会の概要

県内市町、農業協同組合、花き市場、花き生産者等により構成された長崎県を代表する花きの組織。平成10年7月31日設立。本会として各種花き振興対策に取り組むとともに、6専門部会(カーネーション、洋らん、きく、鉢物、ばら、草花)と花き青年部を組織し、それぞれ活発に活動している。

### 長崎県花き振興協議会カーネーション部会の概要

県内カーネーション生産農家により平成10年に組織。県内の花き関係機関・団体等の協力の下、カーネーション新品種の栽培試験や消費拡大PR、全国の生産者との情報交換等の活動を積極的に行っている。

現在、16戸の県内生産者により構成されている。

### 母の日の由来

「母の日」にカーネーションを贈る習慣は、1908年にアメリカのアンナ・ジャービスという女性が、母の命日の5月9日に教会でこの花を配ったことから始まり、その数年後、第28代大統領ウッドロー・ウィルソンが「世界で最も良い母であるあなたの母に捧げる日」と名付けたと言われ、日本へは戦後入ってきた。

# 長崎県花き振興協議会 カーネーション部会



資材・燃油の高騰や夏場の酷暑など課題は多いですが、管理を徹底し、高品質なカーネーションづくりに取り組んでいます！！



## カーネーション部会長 東 圭史郎（雲仙市）

自らの圃場で県オリジナル品種の試作を行い、試作結果を部会員に提供  
部会長として積極的に県産カーネーションをPR

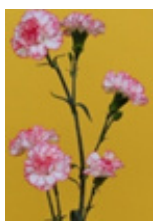
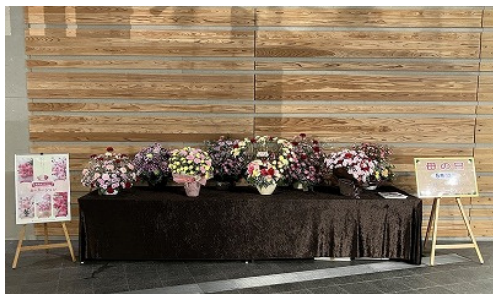
### 令和6年度活動実績

「母の日」に伴う長崎県知事へ  
カーネーション贈呈、県庁花き展示

JR長崎駅でのカーネーション配布  
（大塚製薬と協力）

令和6年度長崎県花き品評会への出品

277点の出品の中から、開田浩幸氏（大村市）が  
長崎県議会議長賞を受賞



県オリジナル品種  
「ひめかれん」  
出願公表 R元.10.28

長崎県のカーネーションは**産出額全国5位！**  
県産カーネーションは花が大きく、茎が固く、  
日持ちが良いのが特徴です！！  
**「暮らしの中に、花を！」**